立山町立立山北部小学校

学 校 だ よ り

令和５年５月
― 第 ２ 号 ―

うまくいかないときこそ、「雑草魂」育成チャンス！

谷　　美 貴

早いもので令和５年度が始まってからもう２か月が過ぎようとしています。子供たちは新しい生活に随分と慣れのびのびと楽しく過ごしています。

しかし、困ったことがあり、悲しそうな様子をしていることもあります。先日ある子が「買ってきた苗が折れてしまった…」とどうしてよいか分からず困っていました。その苗は生活科の学習のために学校の畑に植えることになっていたからです。担当していた教諭が「家でどうするか考えてくるといいね。苗を新しく買うこともできるよ。」と話したところ、そのお子さんは家に帰りお母さんに相談しました。するとお母さんは野菜を育てているおばあちゃんに連絡し、おばあちゃんの家で育てている苗をもらうことになりました。そしてその苗をおばあちゃんと一緒に放課後、学校の畑に植えました。さあ、この後うまく育ってくれるでしょうか。その結果は分かりませんが、この経験を通して、このお子さんは困ったことがあればお母さんに相談したらよいこと、おばあちゃんも助けてくれること、何かあってもやり直すことができることなどたくさんのことを学ぶことができました。うまくいかないことは子供たちにとってつらいことではありますが、そこから自分で考えて解決することを経験し、大きく成長することができる機会でもあります。子供たちのあきらめずに乗り越えようとする力はすごいものだと感心する場面が学校生活ではたくさんあります。「雑草魂」と言いますが、コンクリートに塞がれてもそれを破って芽を出す雑草のようなそんな力をもっともっと伸ばせるように、学校でもうまくいかない時こそ、見守りしっかり支援していきたいと思います。保護者の皆様の温かい支援が子供たちにとってなによりのエネルギーになります。どうぞこれからもご協力ご支援よろしくお願いいたします。

〈５月の行事から紹介〉

自転車教室（３年生）

交通公園に行き、交通ルールや自転車の安全な乗り方を再確認したり、新しく教えていただいたりしました。その後、実際に自転車に教えていただいたとおりに乗ってみました。命を守るための大切な学習ができました。

６年生交流フェスティバル（６年生）

立山中央小学校で区域の６年生が集まり、５０ｍハードル走、１００ｍ走、リレーが行われました。その後みんなでゲームをして交流しました。とても楽しい思い出になったようです。

立山北部小学校ホームページも随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。

https://tateyamahokubu-e.edumap.jp

「思いやり算」で笑顔いっぱいに

帳山　直美

思いやりの心とは「相手のことを考える温かい心」です。よりよい人間関係を築いていくために必要なものであり、困っている人に優しく声をかけたり、人の役に立つ行いをしたりという行動が基になるものです。「思いやりの心」は、特別なものではありません。毎日の生活の中で、「時間を守る」「元気に挨拶をする」等も、実は相手を大切に考え、相手に対する「思いやりの心」の表れなのです。例えば「元気に挨拶をする」ことは、相手をさわやかな気持ちにさせることにつながります。以前、ＣＭで「人を笑顔にする算数。『思いやり算』ほらやさしいでしょ」という言葉が流れていました。次のような内容です。

＋：たすけあうと　大きな力に　　仲間が力を合わせ、協力すれば、より大きな力を発揮することができます。
－：ひきうけると　喜びが生まれる　困っている人のほんのちょっとしたことを引き受ければ、相手は喜びます。
×：声をかけると　ひとつになれる　挨拶や優しい言葉、励ましの言葉をかければ、心が一つになれます。
÷：いたわると　笑顔は返ってくる　困っている人に思いやりの心で接することで、心が和みます。
「人を笑顔にする算数」とあるように、小さな優しさが、笑顔を生みます。人に対する思いやりの心が人と人をつなげてくれます。

立山北部小学校でもこの「思いやり算」を見ることができます。例えば、玄関前の廊下を進んで掃除する人、毎朝、玄関前で「おはようございます」と挨拶をする人、困っている１年生に声をかけてくれる６年生等、いろいろな場面でみることができます。

今年の児童会のスローガンは、「みがこう！まあるい心であいさつを上手にできる北部っ子」です。子供たちは「挨拶をしよう」「ぽかぽか言葉を使おう」と話し合い、取り組んでいます。「ぽかぽか言葉」にも、「思いやり算」を使ってみるとよいのではないでしょうか。

たす＝助ける言葉「いっしょに○○しよう。○○してあげるね」
ひく＝引き受ける言葉「これからも相談してね」
かける＝声をかける言葉「どうしたの？」
わる＝気持ちを分け合う言葉「大丈夫？それは困ったね」

思いやり算は、どの計算をしてもプラスになることばかりです。できるところから、行動に移してみたいものです。みんなが笑顔になれます。

本年度のアクションプランの取組

本校では、教育目標の達成に向けて、「知」「徳」「体」に関わる行動目標をアクションプランとして設定し、教育活動を進めています。今年度のアクションプランは次のようになります。

【知】自分の考えを見直し、分からないことやできないことをそのままにしない子供の割合７０％以上を目指す

【徳】「ぽかぽか言葉」を使う子供８０％以上（毎学期）を目指す

【体】運動チャレンジシートで、２００ポイント以上を記録する子供８０％以上を目指す

「知」では少しでも多く「分かった」「できた」と言える子供を、「徳」では、相手のことを考えた温かい言葉を使うことできる子供を、そして「体」では、進んで運動し、心も体も鍛える子供を増やしていくことができるよう、働きかけていきたいと思います。